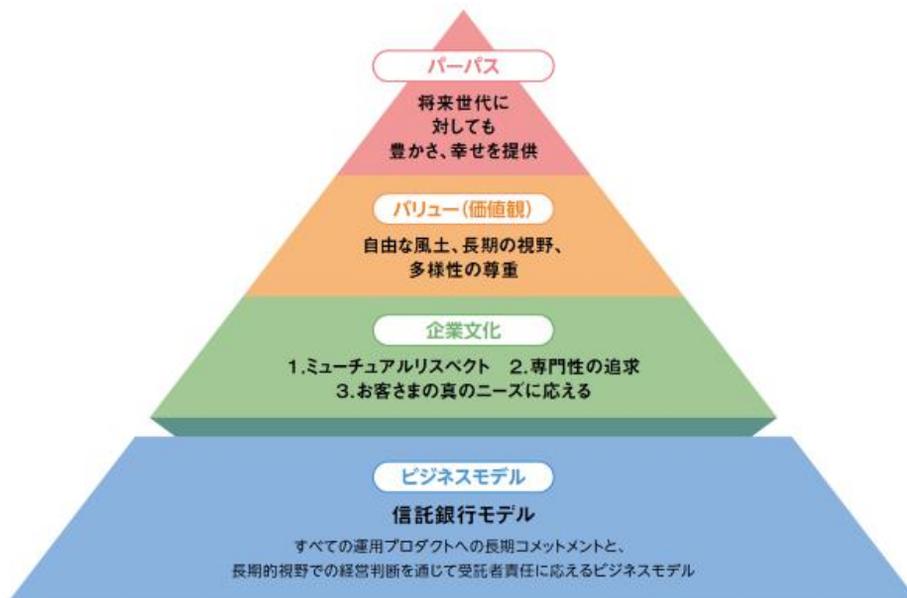


ファンドマネージャー・アナリストコラム

運用会社の日常

りそなローカルインパクト投資への道 第3回
りそなの日本株式インパクト投資とは？りそなアセットマネジメント株式会社
株式運用部
チーフ・ファンドマネージャー 羽生雄一郎

りそなの日本株式インパクト投資ファンドは、日本社会を取り巻くさまざまな社会課題の解決を目指して、2021年に新たに設定されました。当コラムでは過去2回において「そもそもインパクト投資とは」「インパクトファンド運用者である私の思い」についてご説明して参りました。今回はいよいよ、「りそなの日本株式インパクト投資は、実際に何をやっているのか、具体的にどのような特色があるのか」についてご説明したいと思います。

りそなアセットマネジメントのパーパスと、インパクト投資のインテンション

SUSTAINABILITY REPORT 2022/2023,1ページより引用

上に示したのは、りそなアセットマネジメントのアイデンティティーです。りそなアセットマネジメントでは、パーパス（存在意義）として「将来世代に対しても豊かさ、幸せを提供」すること、と定めています。私たちは資産運用業務に従事する者として、直接のお客様や現役世代への豊かさの提供はもちろん、将来世代も見据えたうえで長期投資・責任ある投資を行っています。

では、どうしたら運用会社としてこのパーパスを実現することができるでしょうか。私は、**投資先企業だけでなくお客様の生活の基盤でもある環境や社会がサステナブルであることが、お客様からお預かりした資産を守りかつ、お客様のサステナビリティを支えることに繋がる**と考えています。

当社がパーパスを体現するための活動のひとつとして取り組んでいるのが上場株式のインパクト投資です。

インパクト投資とは、環境や社会の課題を解決するなど、世の中に「良い影響＝（ポジティブ）インパクト」を生み出すことを目的に据えて行う投資です。この「目的に据える」というところに大きな特徴があり、リターン獲得の副産物として位置付けているのではなく、意図して良い影響を生み出すことを目指すという強い意志が込められています。



インパクトレポート2023年版,5ページより引用

インパクト投資では、環境や社会のサステナビリティを脅かす様々な課題を特定し、その解決策を提供し得る上場企業を厳選し、投資を通じて後押しします。当社のインパクト投資においても、どのような課題を解決するのか、どのような良い影響を生み出すのかをインテンション（目標）として定めています。

「日本株式インパクト投資ファンド」の場合は、「『持続可能で住みよい日本社会』の実現」をインテンション（目標）に掲げ、そのために解決すべき社会課題として10の領域を定めています。これら日本社会の持続可能性を脅かす課題の解決に貢献することが、当ファンドが生み出すインパクトです。

当ファンドでは、「『持続可能で住みよい日本社会』の実現」というインテンションに沿って、課題解決に貢献する投資先企業を選定し、投資先企業の皆さまの活動に長期伴走することで、インパクトに紐づいたリターンの獲得を目指しています。



インパクトレポート2023年版,7ページより引用

りそな日本株式インパクトファンドの特色

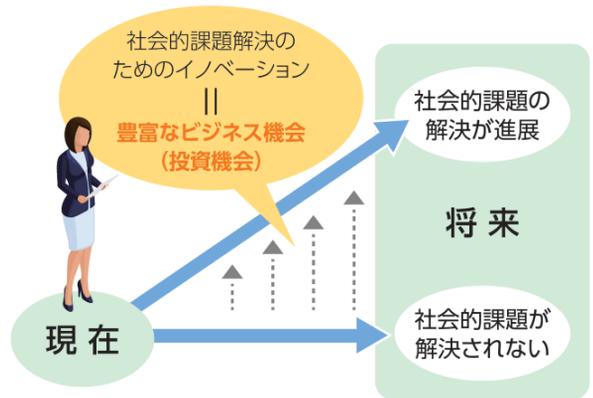
当社のパーパスと、インパクト投資の繋がり、当ファンドのインテンションについてご理解していただきましたでしょうか。

ここからはさらに一步踏み込んで、当社のインパクト投資の特色について「長期厳選投資、インパクト評価・レポート、投資先との対話」の3つを挙げて説明させていただきます。

①長期厳選投資を通じ、社会課題解決に紐づいた高い投資リターンの獲得

世の中で解決が求められている社会課題を解決する方策として、民間企業によるイノベーション（技術革新や創意工夫）に期待が集まっています。深刻で複雑な社会課題に対して有効なソリューションを提供できる企業は、課題解決に大きく貢献すると同時に、差別化された市場で豊富なビジネス機会を獲得し、**持続的な企業価値の拡大を実現することができると考えています。**

当社のインパクト投資では、このような企業を厳選し長期投資を行うことで、**課題解決を後押しすると同時に、その果実として長期的に高いリターンを獲得することが可能である、と**考えています。



インパクトレポート2023年版,6ページより引用

②インパクト測定・評価を通じた価値の”見える化”とレポートिंग

インパクト投資では、投資の成果として投資先がどのようなインパクトをどのくらい生み出しているのか、定期的に評価し、**お客さまに見えるかたちでレポート**していくことを重要視しています。

当社では年1回インパクトレポートを発行し、目標の実現状況や課題解決の進捗などについて、定量的な指標の設定に加え、定期的な評価や事例の紹介なども交えながら、皆さまと共に定点観測をしていきます。



インパクトレポート2023年版,6ページより引用

③対話・エンゲージメントによる企業活動の後押し

長期投資を通じて目的とするリターンの獲得とインパクトの創出を実現していくために、**投資先企業との対話・エンゲージメントを通じて、インパクトを生み出す事業活動を後押し**していくことも重要です。

当ファンドでは、企業を単にリターンを獲得するための手段としてみているのではなく、インパクトを生み出す存在にとらえ、企業の活動が社会にもたらす価値に着目します。企業と同じ目線で同じゴールを目指す伴走者として、信頼関係の構築や、有意義な建設的な対話・エンゲージメントを行っていきます。



インパクトレポート2023年版,6ページより引用

以上が、りそな日本株式インパクト投資ファンドの特色です。

本当はまだまだお伝えしたいことがあるのですが、続きにつきましては、[インパクトレポート](#)をご覧くださいと思います。次回からは、皆さまにより自分事として捉えていただくためにも、具体的な日本の社会課題と、その課題解決方策、インパクト評価について、例を挙げながらご説明していきます。

◆執筆者プロフィール

2009年にりそな銀行へ入社。

2014年より国内株アナリストとして運用業務を担当し、運輸、建設から自動車に至るまで、幅広い産業を分析。

各企業が提供する製品・サービスに対する社会からの要請度や、企業独自の価値創出力に着目して、持続的な成長性を見極めている。

2021年より「りそなローカルインパクト投資」を担当。

趣味はベランダ菜園。芽が出てスクスク育ち、果実が実るに至るまでの成長力、生命力からエネルギーをもらっている。



<本資料に関するご留意事項>

■本資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資一般に関する情報提供を目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■本資料は市場や投資全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。